

科目名		学科/学年	時期	授業形態
ボディ理論		上級エステティック 学科/1年	通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	81回	5単位(81時間)	必須	

授業の概要

ボディトリートメントを行う上で必要な生体の構造や生理機能について基礎知識を学ぶ。
解剖生理学・ホメオスタシスでは生体の構造と機能について栄養学では、栄養素の働きや効果について、運動生理学では運動の効果や種類について理解する。

授業終了時の到達目標

生体に関する基礎知識を持つことで、各人の体形・体質上のさまざまなトラブルの原因について正しく認識し、その対処方法を探ることができるようになることを目指す。

教員紹介

エステティックサロンにて勤務経験のある講師が、実務経験に基づいて授業を行う。

回	テーマ	内容
1～3	解剖生理学①	人体とは何か、細胞・組織
4～6	解剖生理学②	人体のなりたち、血液と体液
7～9	解剖生理学③	骨格系
10～12	解剖生理学④	筋系
13～15	解剖生理学⑤	消化器系
16～18	解剖生理学⑥	循環器系
19～21	解剖生理学⑦	免疫系
22～24	解剖生理学⑧	呼吸器
25～27	解剖生理学⑨	泌尿器系
28～30	解剖生理学⑩	内分泌系
31～33	解剖生理学⑪	生殖器系
34～36	解剖生理学⑫	神経系
37～39	解剖生理学⑬	感覚器
40～42	栄養学①	栄養学の基礎知識
43～45	栄養学②	五大栄養素と食物繊維①

回	テ ー マ	内 容		
46～ 48	栄養学③	五大栄養素と食物繊維②		
49～ 51	栄養学④	食物の摂取と消化吸収について①		
52～ 54	栄養学⑤	食物の摂取と消化吸収について②		
55～ 57	栄養学⑥	日本人の食事摂取基準		
58～ 60	栄養学⑦	食品の分類、食と健康		
61～ 63	栄養学⑧	健康食品と保健機能食品		
64～ 66	ホメオスタシス①	ホメオスタシス①		
67～ 69	ホメオスタシス②	ホメオスタシス②		
70～ 72	ホメオスタシス③	ホメオスタシス③		
73～ 75	運動生理学①	運動生理学とエステティック		
76～ 78	運動生理学②	運動の効果と必要性		
79～ 81	運動生理学③	運動の種類と適切な運動		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【解剖生理学・ホメオスタシス・運動生理学】日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅱ 【栄養学】 日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅲ		出席率 授業態度 小テスト 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	